

# 最新消防ポンプ車配備

日南市消防団

## 軽量、普通免許に対応



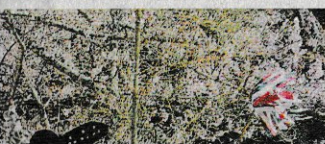
日南市消防団に新たに配備された軽量の消防ポンプ車

長)に27日、市から普通免許(普通免許)の消防ポンプ車(軽量)の配備が完了した。

法の施行により、運転免許の種類として新たに準中型免許が設けられた。これに伴い、普通免許で運転できる自動車の車両総重量が3トン未満から

同市は市消防団の車両を20年ごとに更新しており、今回更新時期を迎えた北郷大藤分団第2部に配備。同日は市消防本部(車両管理課)があり、

面が外れそう  
たけど、うま  
にかんだ表情



エクセルの使い方などパソコン技術を教える  
平田さん(左)



## 平田さん(門川)ら団体設立

平田さんは20代のころ、視力が徐々に低下する網膜色素変性症と診断された。症状に戸惑う時期もあったが「受け入れるためにも障害を武器にしよう」と、2017年10月には患者団体「真網膜色素変性症協会」を設立。会長に就任し、患者同士の交流や情報発信などに取り組んできた。

会の活動やパソコン講師の職業を通じて「IT技術の習得は障害者の自立につながる」と感じた平田さん。昨年からは、同様の考えからITレッスンを取り入れている宮崎市の放課後等デイサービス「Good Jobs (グッドジョブ)」(後藤瑛子代表)で、子どもたちも掲載

都城市高城にある奥内唯約半年の改修再開した。同校の校名所での春休み期間の管理する。振興株式会社山や桜並木、別。ぜひ校のて」と呼び掛。観覧車は高4人のゴンドラ1周約6分で地だけでなくれば鹿児島市という。昨年備事業としてて修繕したほ

# 障害者の社会参加後押し —IT習得教室開講へ

ITやインターネットを活用して障害者が輝けるまちづくりを目指すと、網膜色素変性症による視覚障害があるパソコンアドバイザー、平田清志さん(33)門川町が市民団体「Dream Space (ドリームスペース)」を立ち上げた。パソコン技術の習得で障害者の就労や生活の幅を広げるため、4月からは宮崎市のIT企業オフィスで無料のパソコン教室を開講する。

ちにワードやエクセル技術を教えるボランティアも行っていい。ドリームスペースは昨年12月、両親が全盲で障害者支援などに取り組む投資家の後藤一さん(51)宮崎市と共同で立ち上げた。「アカデミア」と名付けたパソコン教室は、障害のある人が対象で障害種別や年齢は問わない。4月から毎月第2、4土曜日の午後2〜4時に開講予定。障害者を雇用する宮崎市のIT企業・GMOドリームワークスが趣旨に賛同し、オフィスを提供する。初回は4月13日。受講生のほか、パソコン指導をサポートするボランティアも募集している。平田さんは「技術を習得し、社会で活躍できる障害者が増えれば、障害への理解も進むと思う。宮崎から障害者の社会参加の波を起したい」としている。

## 都城・観音池公園

### 観

